

三十三球目

新年ごあいさつ



市長 榑原純夫

新年明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆様におかれましては、健やかに、そして、希望に満ちた新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

旧年中は、半田市政全般にわたり、ご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、半田市は市制80周年という節目の年を迎え、「第八回はんだ山車まつり」、「NHKのご自慢」、「出張なんでも鑑定団」のほか、市民団体の方々にも趣向を凝らした様々な記念事業を実施していただき、大いに半田のまちを盛り上げることができました。

これもひとえに市民の皆様のお力添えのおかげと、深く感謝いたします。本年も引き続き、まちの強みを活かした取り組みを通じ、「半田ならではの」、「さすがは半田」と言われるよう、本市の知名度と魅力の向上を図ってまいります。

●観光振興

具体的な取り組みとして、1月25日、26日に、産業観光を進める地域・

団体が一堂に会する「全国産業観光フ
ォーラム」が半田市で開催されます。

旅行者、観光事業者も参加されるこの機会を絶好の好機ととらえ、古くから現代まで脈々と続く「起業者精神を今に伝える「半田赤レンガ建物」や「蔵のまち」などをPRし、半田市はもとより、知多半島に観光客を呼び込む旅行商品の創出などにつなげてまいりたいと考えています。

●新病院建設について

本市の喫緊の課題である、半田病院の新病院建設につきましては、市職員駐車場への建設を断念し、新たな移転先を検討する判断をいたしました。

建設候補地は、知多半島唯一の第3次救急医療及び災害時拠点病院の機能を有する重要な施設である点を踏まえ、本年3月までに決定します。

新病院建設に当たっては、経営の観点から、建設コストの低減に努めるとともに、コミュニティバスなどを活用した交通アクセスにも配慮し、通院しやすい環境整備を図ってまいります。

早期建設を目指し、平時はもとより災害時においても、安全・安心な医療が提供できるよう、関係各機関の協力も仰ぎながら、堅忍不拔の精神で事業を進めてまいりますので、何とぞ、市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

●子育て支援について

本市では、昨年4月、子育てと就労の両立支援として、病児保育施設「げんきの芽」を開設し、病児療養中または病氣回復期のお子さまの一時預かりを行っています。

また、今年4月からは、放課後児童クラブの保育料軽減を実施してまいります。

今後、子育て世代のニーズに寄り沿った支援策を積み重ね、若い世代の定住につなげてまいりたいと考えています。

●公園整備について

市内公園の整備状況についてお知らせいたします。

平成27年度に開園した七本木池公園では、多くの市民の皆様にご利用いただいております。健康づくりや子どもたちの遊び場、憩いの場となっております。

す。
雁宿公園は、現在リニューアル中ですが、今年4月には、旧交通公園跡地に、複合遊具などの楽しい遊具を設置したことも広場や芝生広場がオープンします。

また、半田球場についても、外周を散策できる遊歩道を備えた、公園との一体感を感じられる球場となります。ぜひ、ご利用ください。

いよいよ新年度からは、任坊山公園の宮池周辺の整備に着手します。「自然を感じ、健康を育む公園」をテーマに、既存の樹木を活かしながら、水辺に近づけるデッキ歩道やウォーキングを楽しめる園路などの整備を進めてまいります。完成は、平成31年度の予定です。

●市政運営にあたって

市政運営にあたっては、本年も、これまで取り組んでまいりました「防災・減災」、「教育・子育て」、「観光振興」の3つの重要施策を柱に、市民の皆様へ、安全・安心・暮らしやすさが実感していただけるよう、スピード感をもって全力で取り組んでまいります。

最後に、市民の皆さんにとりまして、健康で明るく幸多き年になりますようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。